

**マタイの福音書
聖書講解シリーズ**
31) 二つの土台について
マタイ 7:24-29
2019.10.27 HKJCF

1

概観

山上の説教をまとめる時、イエス様は「御言葉を聞いて行う」ことについて強調された。イエス様の權威に従うかどうか、人間にとって大事なテーマである。

アウトライン

- | | |
|------------|--------|
| 1. 賢い人の家 | V24-25 |
| 2. 愚かな人の家 | V26-27 |
| 3. イエス様の權威 | V28-29 |

2

1. 賢い人の家 V24-25

- 1) 土台の重要性：旧約の教え（箴言 12:7; 14:11）；パウロの遺言（1テモテ 6:19）；
山上の説教のエッセンス（マタイ 5章～7章）。
- 2) 御言葉の実践：聖書の価値観によって生きる（ヤコブ 1:22-25）→祝福された生き方。
- 3) 賢い人：分別のある、思慮深い人（ルカ 6:46-49）；
イエス様に信頼を置く人。
- 4) 終末に備えて：雨、洪水、風のシンボル。
- 5) 岩の上に：イエス様と聖書の教え。

3

2. 愚かな人の家 V26-27

- 1) 砂の上：疑問、不信頼、恐れ、自分の理想の上に。①信じる ②行う ③学ぶ ④考える。
- 2) 愚かな人：自分の内面を吟味せず、表面的に、自分を欺いて生きる人（エゼキエル 13:10-12）；救いの道を聞き入れる（箴言 12:15）。
- 3) 土台の違い：乾季の時は分からない；雨季の時はハッキリと強さが分かる。
- 4) ひどい倒れ方：キリストに集中した、純度の高い生き方（1コリント 3:10-15）。

4

3. イエス様の權威 V28-29

- 1) 群衆は驚いた：ナザレ出身の大工の子？教えが明瞭で選択が迫られた。
- 2) 律法学者たち：歴代のラビたちの解釈を引用して教えていた；伝統から来る權威。
- 3) 權威のある者：神の子ご自分の權威で話され、
よみがえられた權威でその教えが書き記された→
天の御国について話された。
- 4) クリスチャンの信仰：組織的な宗教でなく、神様からの啓示と救い道（ヨハネ 14:6）。

5

適用

①イエス様の教えを受け入れるように：

常に自分のこととして御言葉を聞き、神様が自分に語られ、そして応答を期待しておられることを意識するように。

②イエス様の權威を認めるように：

ただの物語の中の架空の人物、または過去の歴史の人物、それとも自分の救い主として理解するのか？正しい決断をするように。

6